経営比較分析表（令和6年度決算）

岐阜県　瑞浪市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m^{3}当たり家庭料金(円)**
-	61.80	76.56	68.51	3,520

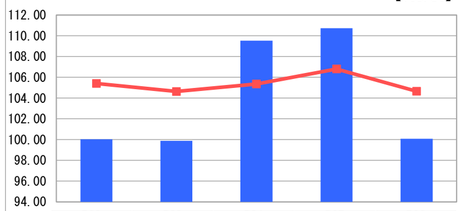
人口（人）	面積(km^2)	人口密度(人/km^2)
35,279	174.86	201.76
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km^2)**	**処理区域内人口密度(人/km^2)**
26,807	11.42	2,347.37

グラフ凡例
- ■　当該団体値（当該値）
- ー　類似団体平均値（平均値）
- 【】　令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

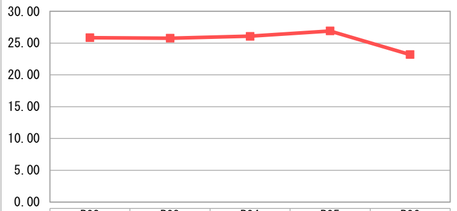
【105.36】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	100.04	99.89	109.54	110.74	100.07
平均値	105.41	104.64	105.35	106.80	104.65

②累積欠損金比率(%)

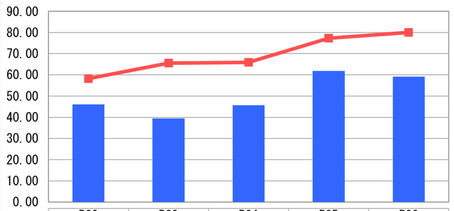
【3.12】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	25.86	25.76	26.07	26.89	23.18

③流動比率(%)

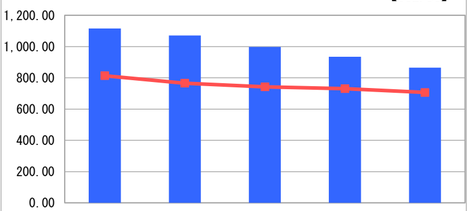
【82.75】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	46.12	39.47	45.70	61.86	59.20
平均値	58.23	65.56	65.87	77.26	80.01

④企業債残高対事業規模比率(%)

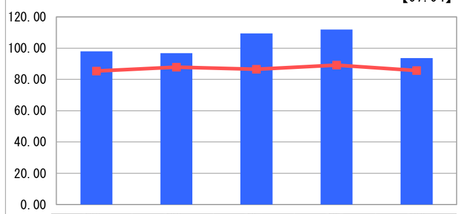
【602.56】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	1,115.15	1,070.60	998.00	934.87	864.46
平均値	812.92	765.48	742.08	730.84	706.45

⑤経費回収率(%)

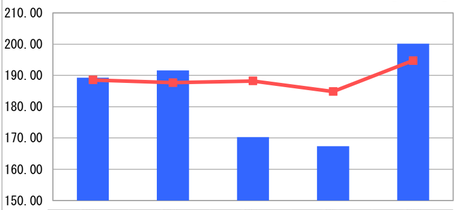
【97.94】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	97.97	96.91	109.50	111.86	93.65
平均値	85.40	87.80	86.51	89.17	85.67

⑥汚水処理原価(円)

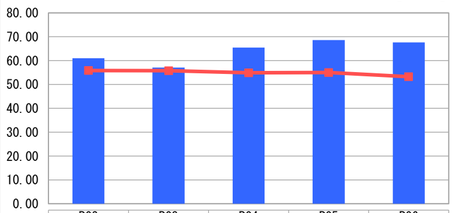
【140.98】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	189.29	191.58	170.29	167.36	200.12
平均値	188.57	187.69	188.24	184.85	194.78

⑦施設利用率(%)

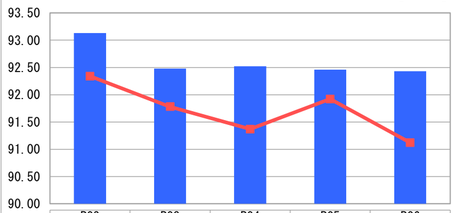
【60.13】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	61.06	57.06	65.44	68.62	67.59
平均値	55.84	55.78	54.86	55.04	53.26

⑧水洗化率(%)

【96.00】

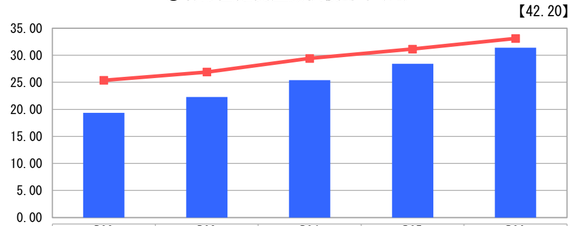


	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	93.13	92.48	92.52	92.46	92.43
平均値	92.34	91.78	91.37	91.92	91.12

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

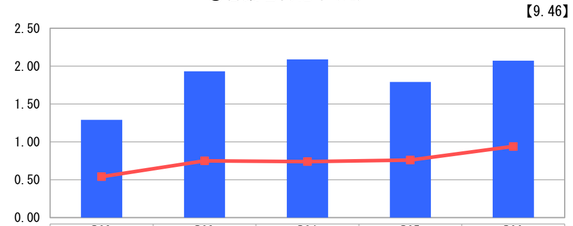
【42.20】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	19.38	22.30	25.42	28.43	31.41
平均値	25.37	26.89	29.42	31.14	33.11

②管渠老朽化率(%)

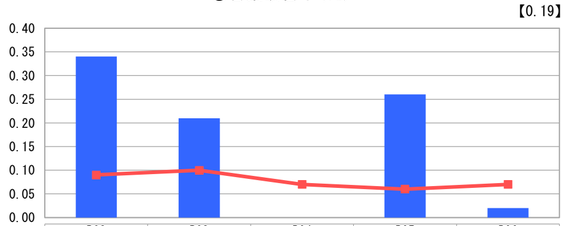
【9.46】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	1.29	1.93	2.09	1.79	2.07
平均値	0.54	0.75	0.74	0.76	0.94

③管渠改善率(%)

【0.19】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.34	0.21	0.00	0.26	0.02
平均値	0.09	0.10	0.07	0.06	0.07

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、類似団体平均値を下回っていますが、一般会計からの繰入などにより概ね100%を上回っている状況です。
また、企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を上回っていますが、企業債残高の減少に伴い減少傾向にあります。
汚水処理原価は、類似団体平均を上回っています。地理的要因により、マンホールポンプの維持管理費などが必要なため、汚水処理費が高くなっている状況です。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体平均を下回っておりますが、今後は法定耐用年数を経過する機械設備等を、ストックマネジメント計画に基づき、計画的に更新する必要があります。

全体総括

経常収支比率は、一般会計からの繰入などにより概ね100%を上回っており、単年度収支の黒字が確保できています。
今後は人口減少などにより使用料収入の減が見込まれるため、経営の効率化に努めるとともに、ストックマネジメント計画に基づき、機械設備の更新等を計画的に行っていく必要があります。